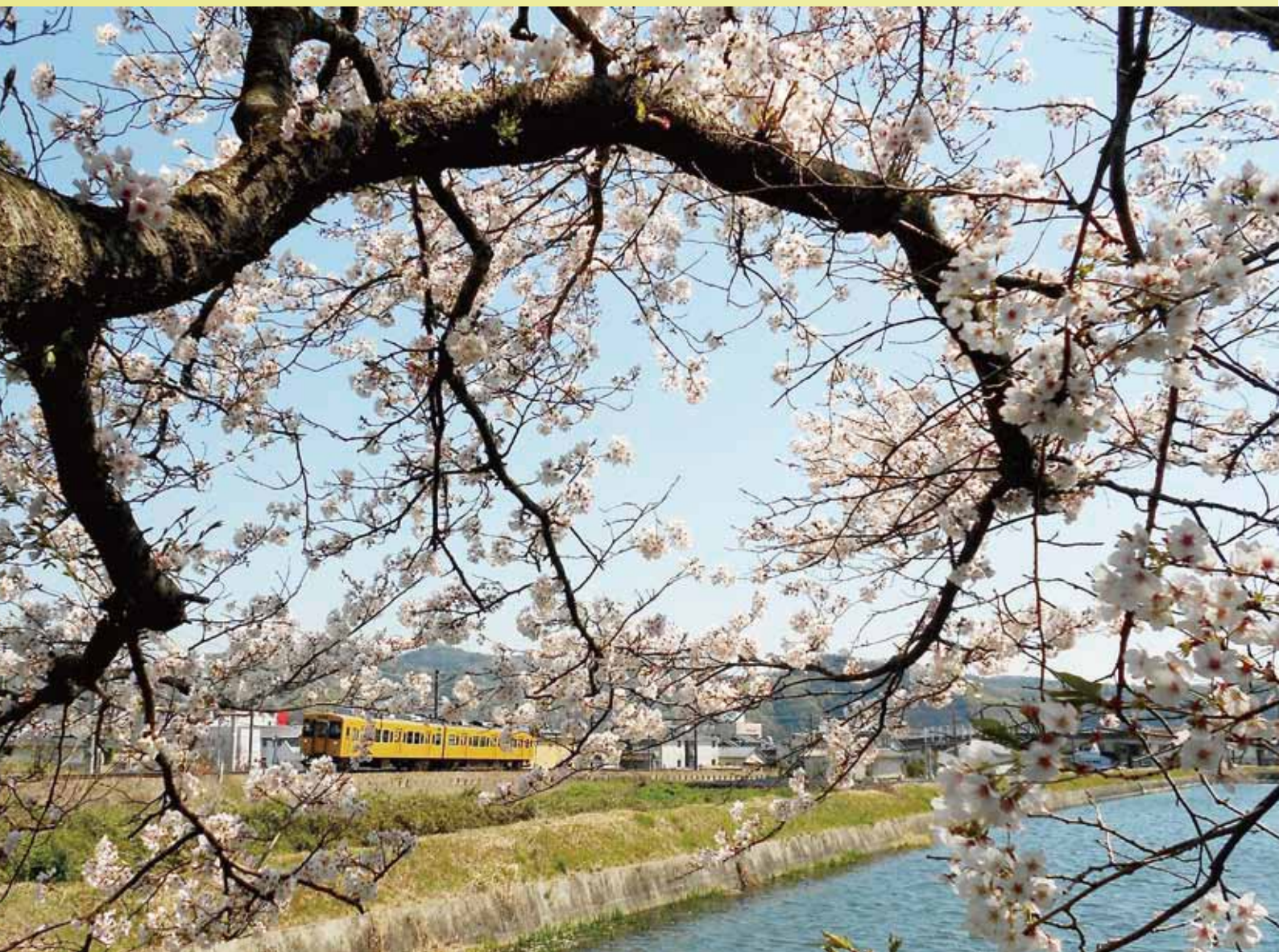


ハイ!

# 青いそら

2024年春号

<病院理念> 患者さん中心の人にやさしい良質の医療を提供します



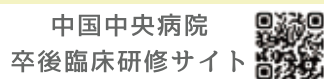
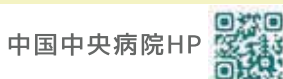
P.2~5

## 特集 リハビリテーション科

運動だけではない

HTLV-1外来スタート / 臨床検査科 最優秀施設賞	6
診療報酬改定	7
手術支援ロボット体験会 / 地域健康講座	8
俳句コーナー / 新任医師紹介	9
医療機関アンケート結果のご報告	10
初期臨床研修修了	12
外来診療担当医表	14
栄養メニュー / 地域連携室だより	16

2024年4月



表紙の写真を募集しています  
詳しくは7ページへ



# 特集

## リハビリテーション科

主任理学療法士 多賀真弓

リハビリテーション科は、理学療法(PT)、作業療法(OT)と言語聴覚療法(ST)の3部門で構成され、病気や治療の段階に合わせて、様々な身体機能の回復に向けたリハビリテーションを提供しています。病気やケガをして間もない急性期では、治療に並行して、または手術後の早い段階からリハビリを行うことで、体力の低下を予防し回復期のリハビリへと繋げています。当院で多いがん治療においては、治療初期の体力を維持する予防的リハビリから、副作用による身体機能低下の回復を目標としたリハビリ、日常生活や身体能力の維持的リハビリまで、病期の進行に応じた運動指導を行っています。

リハビリといえば『運動する』というイメージが強いと思いますが、医療チームの一員として様々な病気・症状の方に対応するために、運動以外にもいろいろな業務・取り組みを行っています。今回はリハビリスタッフの一日を覗きながら、運動だけではないリハビリテーション科をご紹介します。



### 整形外科カンファレンス

週1回、医師や看護師、ソーシャルワーカー、リハビリスタッフで、入院されている患者さんの病状やリハビリの状況、今後の方針について話し合いをしています。

その他、呼吸器内科、血液内科、心臓リハビリ、各病棟など様々なカンファレンスに参加しています。



### 朝のミーティング

スタッフ全員でのミーティングの後、グループに分かれてミーティングを行います。新しくリハビリを始める患者さんの担当者を決めたり、予約時間の調整を行います。



### 午前のリハビリ

カルテを見て体調を確認してから、担当の患者さんのもとへ向かいます。リハビリが終わって、身体状況や動作の介助量に変化があったときは、他の医療スタッフに報告して情報を共有しています。






## 昼休憩



各々自由に過ごしています。

日々体を使う療法士として、体力維持のために筋トレやストレッチをしている人もいます。



## 午後のリハビリ

午前と同様にミーティングを行い、午後の業務が始まります。

- 転倒の原因や再発予防についての話し合いに参加したり、栄養サポートチームの一員として患者さんの病室へ訪問することもあります。
- 言語聴覚士は、患者さんの昼食時間が終わってから昼休憩に入ります。

リハビリの予約時間の合間や、患者さんとのリハビリが終わり次第、電子カルテに記録をしていきます。

電子カルテは、院内のどこでも情報を見ることができるので、複数の病棟に移動するリハビリスタッフはとても助かっています。

カルテの記録以外にも、リハビリの計画書や転院される方の報告書など、パソコンで書類作成をしています。



## 夕方のミーティングと点検業務

今日一日、担当した患者さんの様子について、チーム内で報告します。難しい症例について話し合っ、より良いリハビリができるようにアドバイスをもらうこともあります。

安全にリハビリを行うため、毎日の救急カート点検、週1回の歩行器点検、月1回すべてのリハビリ機器の安全点検をしています。症例検討や危険予知訓練などの研修を行うこともあります。



## 言語聴覚士

言語聴覚士は、食事時間にもリハビリを行います。食べ物や飲み物を飲み込む嚥下機能えんげの低下で食事に配慮が必要となった方に、舌や喉の動き、飲水の様子などの検査を行った後、食形態やとろみの調整を行って、実際の食事場面で指導していきます。食事以外でも、嚥下に必要な筋肉の筋力増強や可動範囲の拡大も行っています。

また、耳鼻咽喉科や口腔外科で実施される内視鏡検査に立ち合うこともあります。

## 作業療法士

作業療法士は、治療に必要な装具も作ります。一人ひとりオーダーメイドで、型から切り出して、立体的に整えていきます。

写真は、患者さんに合わせて装具の微調整をしているところです。



いかがでしたでしょうか。リハビリテーション科では、普段から患者さんが安全に運動に取り組めるように様々な対策をしています。今後も院内医療チームの一員として、質の高いリハビリテーションを提供してまいりますのでよろしくお願いいたします。

次のページでは、リハビリで使用している機器の使い方や運動効果などをご紹介します。



## リハビリテーション機器のご紹介

### 自転車エルゴメーター

全身の持久力や足の筋力をつけるための運動として幅広く使われます。患者さんの体調や体力に合わせて、ペダルの重さや運動時間を調整して安全に配慮しています。

運動が楽しく続けられるように、終了すると消費したカロリーが食品で表示されます。



### 平行棒

手術やベッドに寝ている期間が長かった患者さんが、しっかりとした支えで安全に立ち上がりや歩行の練習ができます。他にも、片足立ちや筋力トレーニングの支えとしても使用します。

体格に合わせて高さや幅が調整でき、リハビリ室での使用頻度はとても高く、順番待ちになることもあります。



### レッグプレスマシーン

足の曲げ伸ばしに空気圧で抵抗をかけることで、太ももやお尻の筋肉を鍛えることができます。

入院中、歩く量が減って体力が低下するのを防ぐために、多くの患者さんに使用してもらっています。



### ホットパック (温熱療法)

患部に当てて温めることで、筋肉の緊張をやわらげたり、血流を改善して痛みやコリを緩和させる効果があります。

パックの中には数種類の鉱石が入っていて、温度を持続させながら心地よく温めてくれます。



### 超音波療法

超音波の振動を利用した施術を行う機器です。血行が良くなったり、炎症を改善したりといった効果が期待でき、変形性膝関節症や足関節捻挫、肩関節周囲炎、手根管症候群などの疾患で効果が実証されています。施術に関しては、リハビリスタッフが十分配慮して行っています。



## BLS (Basic Life Support) 研修

リハビリ中に患者さんの体調が急変した場合にも対応できるように、リハビリスタッフ全員が心肺停止または呼吸停止に対する一次救命処置の研修を受けています。

こちらは今年3月に、院内BLSチームの指導のもと、胸骨圧迫や人工呼吸、AEDの使い方を練習している様子です。



## リハビリテーションの対象はこちら

運動器リハビリテーション	骨折や人工関節の手術後を中心に、様々な運動器疾患に対してリハビリを行っています。早期退院、生活動作の改善のため、術後早期より介入し、地域医療との連携にも努めています。
呼吸器リハビリテーション	胸部外科の術前・術後、肺炎などの急性呼吸器疾患からCOPD(慢性閉塞性肺疾患)などの慢性呼吸疾患まで幅広い疾患に対応しています。呼吸法の指導や体力増強、在宅酸素療法の導入指導も行っています。
がんのリハビリテーション	手術、化学療法、放射線治療による体力の低下を予防・改善し、よりよい日常生活が送れるように介入しています。がんと診断された早い時期から緩和期までがんのあらゆる病期に対応しています。
脳血管疾患等リハビリテーション	急性期から回復期まで、また他疾患を合併している場合にも症状に合わせて介入しています。失語症や構音障害に対する言語聴覚療法も実施しています。
廃用症候群リハビリテーション	疾患にかかわらず、病気や入院によって低下した身体機能を回復し、早期退院に繋げることができるように、筋力増強、動作練習、退院後の生活指導などを行っています。
心大血管疾患リハビリテーション	心不全の他、心疾患を有する患者さんに対し、心臓リハビリテーション指導士が、循環器内科医の指示のもと多職種と連携しながら機能回復運動や生活動作の練習を行っています。

## リハビリテーション担当医より

リハビリテーションの守備範囲は広く、運動器のみならず呼吸器、がん、脳血管疾患、心大血管など多岐にわたります。各人の状態を把握し、肉体的、社会的に「本来あるべき状態に戻すこと」を目指しています。その達成のためにチーム(リハビリスタッフ、医師、看護師、義肢装具士、ソーシャルワーカーなど)を組んで多面的に評価、治療を行っています。



整形外科部長  
リハビリテーション科部長  
角南勝利

## HTLV-1外来を開始します



### HTLV-1とは？

HTLV-1(エイチ・ティ・エル・ブイ・ワンと読みます)は、Human T-cell Leukemia Virus type 1(ヒトT細胞白血病ウイルス1型)の略称です。日本国内に50万~108万人もの感染者(キャリア)が存在すると言われています。日本人の100~200人に一人の割合でウイルス感染者が存在することになります。

HTLV-1ウイルスに感染していても、ほとんどの方は病気を発症することはありませんが、感染者のうち3~5%の方が成人T細胞白血病・リンパ腫(ATL)などの病気を発症することがあります。詳しくは、HTLV-1情報ポータルサイトをご参照ください。

当院は、日本HTLV-1学会の登録医療機関として、HTLV-1感染者の方の診療、定期的経過観察および相談支援を行うHTLV-1外来を開院いたしました。

### 通常の保険診療で実施しています



HTLV-1  
情報ポータルサイト

### 患者さんへ

- HTLV-1陽性と言われた、血縁者にHTLV-1陽性者がいる、などお気兼ねなくご相談ください。
- 検査結果があればご持参ください。
- 医療機関から紹介・外来予約をしていただくと受診がスムーズです。

### 地域の医療機関の方へ

- 最新の学会ガイドライン等に準じた診療を行って参ります。
- HTLV-1抗体検査が陽性の段階でご紹介いただいてもかまいませんし、ラインプロット法などの確認検査を実施いただいているからのご紹介でもどちらでもかまいません。

### 診療日(予約制です)

火曜日 午後、金曜日 午前

お問い合わせ 084-970-2121(代表)

感染症内科部長 増成太郎

日本HTLV-1学会

- JSPFAD担当責任医師
- 普及啓発事業運営委員会委員

## 臨床検査科



臨床検査精度管理調査  
最優秀施設賞を受賞しました

臨床検査技師長 松田浩明

この度、広島県医師会が主催する臨床検査精度管理調査の最優秀施設として表彰を受けました。

本精度管理調査は、広島県の参加各施設へがん細胞や微生物などを撮影した画像、血液検体などを配付し、それを受け取った施設は分析結果を報告します。その検査結果を、主催者が集計・評価し、参加施設の技術水準や検査精度を明らかにすることで、最も優秀な結果となった施設が表彰されます。

臨床検査科では、常に正しいデータを迅速に提供することを心がけており、今回このような賞を受賞できたことは大変光栄に思います。今後も質の高い検査結果を提供できるよう臨床検査科一同取り組んでいきたいと思っております。



# 令和6年度 診療報酬改定について

医療機関で医療行為を受けるときに、その対価として支払う費用が「診療報酬」です。

厚生労働大臣が定めた医療行為それぞれの点数を足しあげて算出できます。自己負担分は患者さんが支払い、残りは加入している医療保険者が支払う仕組みです。

診療報酬は2年に1度改定が行われ、6月から実施されます。



## 注目ワード「医療DX」

「DX」とは、デジタル技術によって製品やサービスをより良いものへと変革することを指します。

当院はオンライン資格確認によるマイナンバーカードの健康保険証利用が本格スタートしています。

これにより受付時の負担軽減や、検査・調剤が重複していないかのチェック、過去の調剤履歴や受診歴等の確認などができるようになっています。

マイナ 保険証 利用	医療情報取得加算	
	初診	再診 ※3月に一回
なし	3点	2点
あり	1点	1点

新設されたものの一部  
(厚生労働省より)

マイナ保険証の利用の有無により  
点数の加算があります。

取得した情報が活用可能な体制があり、電子  
処方箋及び電子カルテ情報共有サービスを整  
備していることが要件の加算です。

医療DX推進体制 整備加算 (初診)	
医科	歯科
8点	6点



受診の際は、マイナンバーカードの利用をお願いいたします。

文責 齋藤敬太

中国中央病院広報委員会  
表紙の写真を募集いたします!



今号のために、たくさんのご応募ありがとうございました。引き続き、福山の風景や季節を感じる写真等、みなさまからのご応募をお待ちしております。

### 【応募方法】

- A4サイズに印刷したものを担当者へ郵送または、受付へご提出ください。
- 採用させていただく場合は、事前にご連絡申し上げます。その後、写真データをメール添付にてお送りいただきます。

### 【夏号の締切】

6月21日（金）

### 【応募にあたって】

- 応募いただいた写真は広報誌以外には使用しません。
- 被写体が人物の場合は、必ず被写体となった人の許可を得て応募してください。
- いただいた写真はお返ししませんのでご了承ください。
- 広報誌は当院ホームページへ掲載する場合があります。

### 【郵送先】

720-0001 福山市御幸町大字上岩成148番13  
公立学校共済組合中国中央病院 庶務課 宛

- 撮影者名(ニックネーム可)、連絡先、撮影地を同封してください
- 封筒に広報誌用写真在中とお書きください。



## 手術支援ロボットSaraoa体験会を開催しました。

令和6年1月31日に今回、当院で導入をした手術支援ロボットSaraoaの体験会を開催しました。

当日は招待をした報道関係者、福山市立幸中学校の生徒さんに従来の内視鏡手術操作体験、Saraoaを使用した手術操作体験をして頂きました。みなさん、笑顔で体験会に参加されていましたが、いざ体験の順番になると、想像以上に繊細な動きが必要で皆さん真剣な表情で体験に没頭し、「先生たちの凄さがわかったよ。」と外科医の技術の高さを実感して頂けました。

また、Saraoaの体験では、内視鏡手術操作体験と違い手ブレが抑えられ、鉗子の先が自由に動く操作性に皆さん一様に驚かれていました。また、一番の特色である。「触覚」について、鉗子で体験用の硬さが違うチューブを掴み、その硬さの違いをコントローラーを通して感じると「あつわかる。硬い、こつちの方が柔らかい」とロボット手術でありながら触れるものの感触が伝わる不思議な体験を皆さんに喜んでいただけました。

Saraoaを使用した手術は4月より運用を開始しております。みなさんに体験して頂いたSaraoaの「触覚」はあるとより安全で精度高い手術に貢献するのは間違いないと思います。この備後地域で胸部手術を必要とする患者さんに住み慣れた地元で高水準の手術を受けていただけるようこれからも頑張ってまいります。

## 中国中央病院地域健康講座



令和6年3月9日に4年ぶりとなる中国中央病院地域健康講座を開催しました。

この会は地域の方々に健康に関する正しい知識を普及することで、生活習慣病の予防や早期発見・早期治療を促進し、健康寿命の延伸を目指すことや、健康に関する知識を身につけ、健康への意識を高めることで、自らの健康管理に積極的に取り組んでいただきたいと考え、当院が位置する御幸学区の方々と相談をして年に1度開催をしてきた会です。コロナウイルス感染症の拡大により中止していましたが今年度より再開をしました。

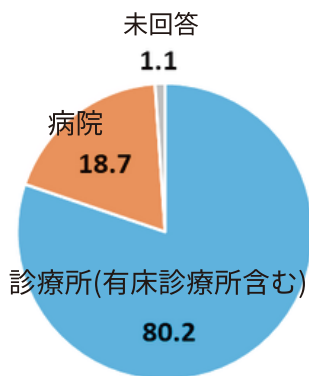
今回は玄馬病院長による「がんについての最近の話題」、片山理学療法士長より「がんでも元気で過ごせる工夫」緩和ケアチーム細井看護師長より「人生会議をご存知ですか」の3テーマでお話をさせていただきました。玄馬病院長からはがんという病気についてその発生・原因・予防・治療について、片山理学療法士長からは、がんになった後も元気で過ごせる秘訣や日常生活の中で出来る体操を、細井看護師長からは、人生の最期をどのように迎えたいか元気な時から大切な人達と話をしておく大切さをお話させて頂きました。現在、日本人の2人に1人は一生のうち何らかのがんになるといわれています。がんは、すべての人にとって身近な病気です。がんという病気を必要以上に恐れず正しい知識をもって付き合っていきましょう。



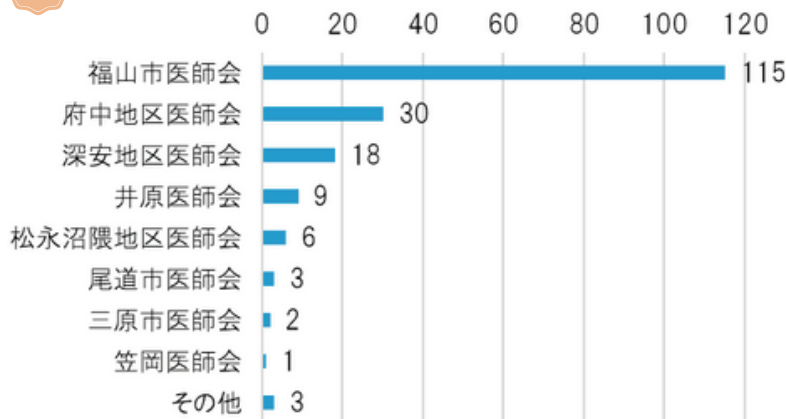
# 医療機関アンケートへのご協力ありがとうございました

2024年1月から2月にかけて、福山・府中地区の医療機関を中心に、医療機関アンケートを実施させていただきました。地域の各医療機関とよりよい連携・協力体制を構築するため、患者紹介に関する現状、問題、今後当院に求めること等の意見収集を目的とし、341施設に送らせていただきました。そのうち半数を超える187施設より回答をいただくことができましたので、結果をご報告させていただきます。(紙面の都合上、一部のみ抜粋しています)

## 1 医療施設区分をお教えてください



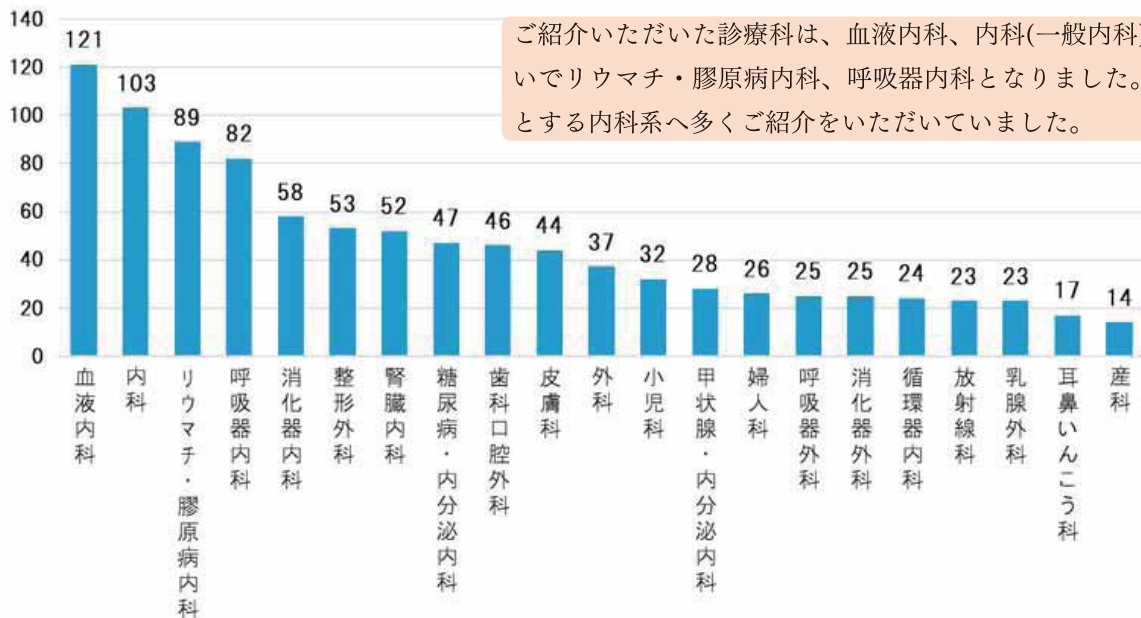
## 2 所属する医師会をお教えてください



ご回答いただきました医療機関の施設区分では、全体の80.2%が有床診療所を含む診療所、18.7%が病院でした。

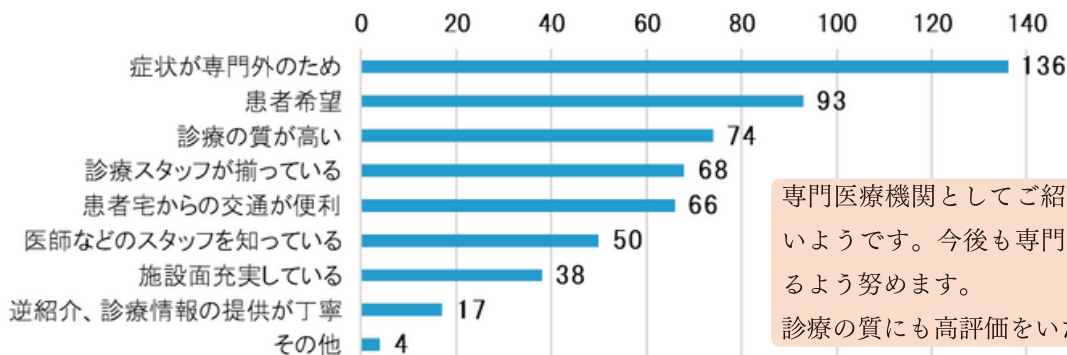
所属の医師会については、福山市医師会が多く、全体の61.5%を占めていました。続いて、府中地区医師会、深安地区医師会と、当院近隣の医療機関に多くご協力いただきました。

## 3 紹介された診療科はどの診療科ですか？(複数回答可)



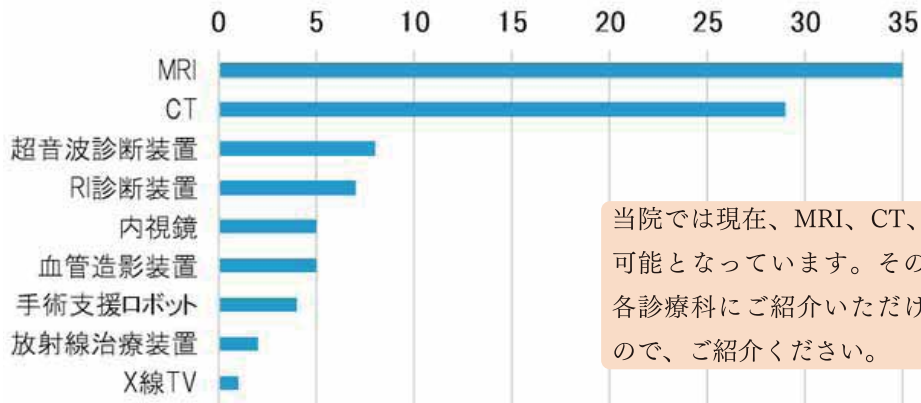
ご紹介いただいた診療科は、血液内科、内科(一般内科)が多く、次いでリウマチ・膠原病内科、呼吸器内科となりました。当院が得意とする内科系へ多くご紹介をいただいていた。

## 4 当院に紹介いただいた理由(複数回答可)



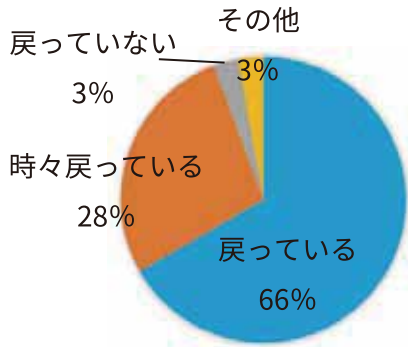
専門医療機関としてご紹介いただくことが多いようです。今後も専門的診療を続けていけるよう努めます。診療の質にも高評価をいただきました。

5 共同利用したい医療機器を教えてください



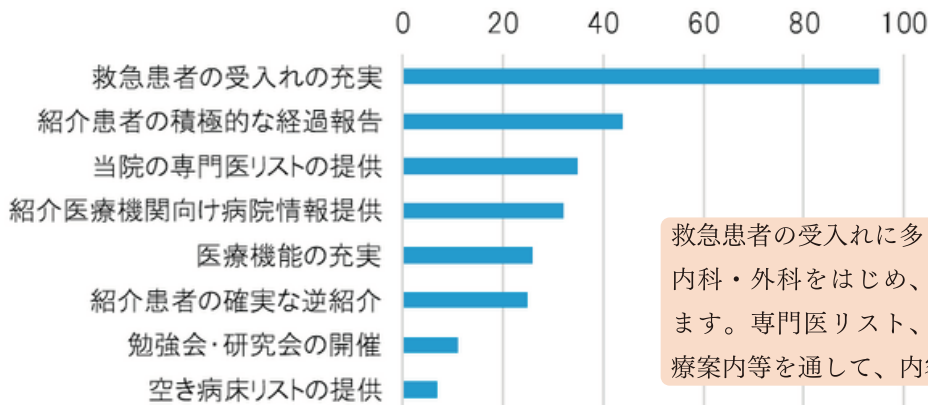
当院では現在、MRI、CT、RIについて共同利用が可能となっています。その他の機器については、各診療科にご紹介いただければ検査等は可能ですので、ご紹介ください。

6 ご紹介いただいた患者さんは、治療や検査後に戻られていますか？(複数回答可)



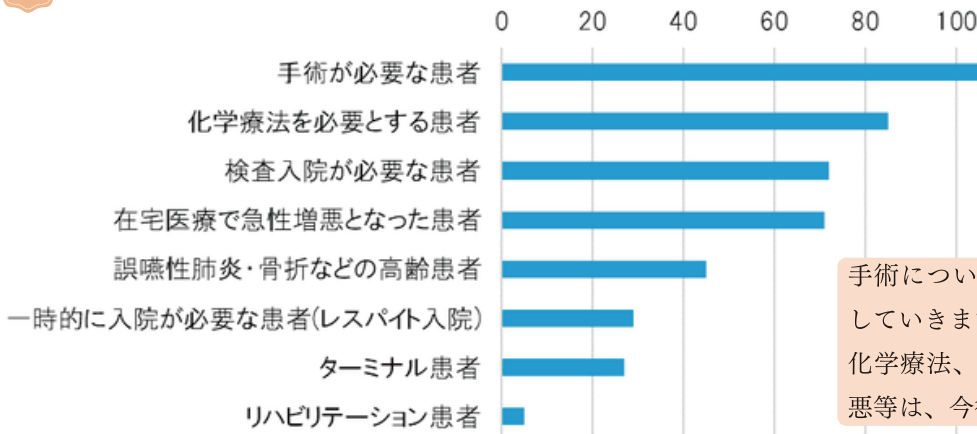
多くは戻られているようですが、時々戻っている、戻っていないとのご意見も多くありました。今後もかかりつけ医への逆紹介に取り組みます。

7 今後当院に必要と思うものがあれば教えてください(複数回答可)



救急患者の受入れに多くのご要望をいただきました。内科・外科をはじめ、各診療科で受入れを継続いたします。専門医リスト、病院情報の提供については、診療案内等を通して、内容の充実を図ります

8 当院に受入を望む患者さん(複数回答可)



手術については、当院で対応可能なものは受入れをしていきますので、ご相談ください。化学療法、検査入院、高齢患者、在宅医療の急性増悪等は、今後も継続して受入れます。

アンケートにご協力いただきました医療機関の皆さま、貴重なご意見をいただきありがとうございました。今回いただきましたご意見をもとに、まずは返書や逆紹介から改善していく予定です。

また、救急医療や化学療法など、当院にできる医療については引き続き積極的に受入れに努めますので、今後とも御指導いただきますよう宜しくお願い申し上げます。

## 初期臨床研修修了おめでとうございます

2024年3月、4名の研修医が当院での2年間の初期臨床研修を無事終了しました。仕事でもプライベートでも、非常に仲の良い4人組でした。研修にご協力いただいた皆様には厚く御礼申し上げます。

4月からは、専門医を目指して様々な研修病院で後期研修をスタートさせています。当院で学んだ経験を活かし、さらに飛躍されることを期待しています。身体に気を付けて頑張ってください。

研修プログラム責任者 安藤由智



充実した2年間でした

臨床研修医 倉重京香

あっという間に初期研修が終わってしまいました。本当に自分はもう3年目になるのか、と信じられない気持ちです。入力ミスで薬剤師さんから何度も連絡をいただいたあの日、指示が足りず看護師さんからたくさん確認していただいたあの日、どうしていいかわからず通りすがりの先生に泣きついたあの日、どれも昨日のことのよう鮮明に覚えています。何を思い返しても皆様に助けていただいたことばかりで、本当に感謝してもしきれません。皆様のおかげで、たくさんのチャンスをいただき、たくさん成長できたのではないかと思います。なんでも話せる同期、どんなことでも優しく教えてくださる先輩方、私のわがままに付き合ってください安藤先生や秘書さん方と出会えたこともとても幸運でした。社会人のスタート、そして医師としてのスタートをここで過ごすことができ本当によかったです。

4月から、岡山大学病院で耳鼻咽喉科専攻医として勤務します。近いとはいえ岡山への移住が近づくにつれ、この恵まれた環境から離れることが不安でたまりません。少なくともいずれ福山には帰ってきますが、願わくばこの中国中央病院に帰ってきたいと思っています。その時はまた温かく迎えていただけるととても嬉しいです。立派になって帰って来られるよう、これからも精進します。2年間本当にありがとうございました。



たくさんの方にお世話になりました

臨床研修医 立上大紘

2022年4月より2年間に渡って研修をさせていただきました。小中高時代を過ごした福山市の医療に貢献したい思いがあり当院を研修先として選びました。

研修を始めてから、医療に関わる職種の多さに驚きました。看護師、看護助手、助産師、薬剤師、検査技師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、メディカルエンジニア、栄養士、調理師、心理士、ソーシャルワーカー、事務の方々など、医師以外にもたくさんの職種の方にお世話になっていることを知り、「チーム医療」を実感しました(挙げきれない職種の方がいたらごめんなさい)。患者さんに直接関わることの少ない職種もありますが、患者さんの病気が良くなるように、病院で少しでも心地よく過ごせるように、多くのスタッフが協力しています。様々な視点から、自分の知らないとても多くのことを学ばせていただきました。ありがとうございました。

新年度からは岡山に場所を移し、内科専攻医として研修させていただきます。これから先の医師人生の中で、またいつか福山に戻ってきて働きたいと思っています。その際にはより良い医療を提供できるよう精進してまいります。



## 初期研修を終えて

田中愛也

初期研修の二年間はあっという間に終わってしまいました。寂しさ、名残惜しさもあり、将来への期待や不安、様々な思いで頭がいっぱいになっています。

僕は大阪府出身で、大学で岡山に、そして初期研修で福山にやってきました。同期のみんなは明るくて楽しくて、当時の研修医の先輩方は皆さん頼れる方ばかりで、すぐに職場に馴染むことができました。指導医の先生方も皆さんとても穏やかで、優しく愛をもって指導していただきました。医局の外では、看護師さんを初めとするコメディカルのスタッフの方々にも大変お世話になりました。失敗に対して、叱ってくださった方、励ましてくださった方、皆さんに育てていただきました。ご迷惑をおかけしたことが多かったとは思いますが、皆さんのおかげで色々なことに挑戦することができました。

3年目以降は、姫路赤十字病院で内科専攻医として研鑽を積む予定です。当院に残って研修を続けることも非常に悩みましたが、もう一度気持ちを切り替えて成長するために、外に出ることに決めました。岡山大学の医局に所属しているので、また福山に戻ってくるかもしれません。その時はまた皆さんと一緒にできるのを楽しみにしています。成長して戻って来られるように精一杯頑張りますので、応援してください。ありがとうございました。



## 初期研修を終えて

平谷信太郎

二年間大変お世話になりました。私は高校時代を過ごした福山で社会人を始めたいと思い、この病院での研修を希望しました。

最初の頃は何かかまがわからないことだらけで、たくさんのご迷惑をおかけしました。しかし、親身になって下さる上級医の先生方や先輩方、同期をはじめ、関わるすべての方々に支えられながら、なんとか毎日を過ごし、こうして二年間を終えることができました。

二年間の研修生活の中で、たくさんの患者さんと関わらせていただきました。良くなって退院していく方から、残念ながら亡くなってしまわれた方まで、さまざまな患者さんの診療に携わることができ、その中でたくさんの経験や学びを得ることができました。皆様の助けもあり、入職した当初より少しは成長することができたのかなと思います。この中国中央病院で医師としての一步を踏み出すことができ本当に良かったです。心から感謝しています。

新年度からは内科専攻医として、引き続き当院で研修をさせていただきます。今まで以上に気を引き締めて頑張っていきたいと思います。これからもたくさんのご迷惑をかけるかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願いいたします。



## 栄養メニュー

# 新玉ねぎの まるごとグラタン



### 材料 (2人分)

- 新玉ねぎ 2個
- ツナ缶 (水煮) 1缶
- ピザ用チーズ 30g
- パセリ 少々
- ブラックペッパー 少々
- 味噌 大さじ1
- マヨネーズ 大さじ1
- 醤油 小さじ1/2
- ごま油 小さじ1/2

### 栄養量 (1人分)

エネルギー	220kcal
たんぱく質	12.5g
塩分	2.0g



### 作り方

- 1 新玉ねぎは上下を切り落とし、耐熱皿に入れて600Wで4分加熱する。
- 2 底が抜けないように中身をくり抜き、取り出した玉ねぎをみじん切りにする。
- 3 みじん切りにした玉ねぎ、ツナ缶、味噌、マヨネーズ、醤油、ごま油を混ぜ合わせる。
- 4 くりぬいた中に3を詰めて、ピザ用チーズを乗せ、トースターで焦げ目が付くまで焼く。
- 5 器に乗せて、パセリとブラックペッパーを振ったらできあがり！

春に旬を迎える甘みたっぷりの新玉ねぎを余すことなくいただける一品です。玉ねぎには風邪や病気に対する免疫力を高めるビタミンC、血液をサラサラにする硫化アリルが含まれます。血圧・血糖値・血中コレステロール値の高い方は血栓が作られるリスクが高いため、積極的に摂りたい食材ですね。新玉ねぎの美味しいこの時期にぜひお試しください。

調理師 坂本秀幸 栄養士 和田彩香

地域連携室だより VOL. 28

## オープンカンファレンス開催しました

### 肺がん手術の変遷

ロボット支援下手術時代にSOFT ROBOTICSが拓く未来

令和6年2月22日、第40回オープンカンファレンスを開催しました。今回は、当院の手術支援ロボット<sup>サロア</sup>Saroad導入に伴い副院長・呼吸器外科部長の鷲尾一浩医師より講演をさせていただきました。

WEBと会場に、院内外あわせて73名の参加があり、講演終了後には、院外の先生方を対象に手術支援ロボットの体験会も実施しました。参加された先生から「実体験できて素晴らしかった。何よりも印象に残る。」とご感想をいただき好評でした。お忙しい中ご参加くださった皆様に感謝申し上げます。



次回は、7月に循環器内科より、心臓リハビリテーションを中心に講演させていただく予定です。詳細が決まり次第ご案内いたします。皆様のご参加をお待ちしております。

地域連携室 村上可容子

## 編集後記

新年度を迎え、ご自身の異動・転勤やご家族の卒業・入学など、新生活が始まった方も多いかと思います。皆様の環境はいかがでしょう。院内にも新しい風が吹いています。桜も開花し、花や緑を感じられる季節の到来にワクワクします。

活動しやすくなってきましたので、新たなことにチャレンジしてみることもいいかもしれません。皆様楽しい春をお過ごしください。

広報委員会



## 青いそら〈第156号〉

発行人 病院長 玄馬 顕一

発行 広島県福山市御幸町大字上岩成148-13

2024年4月19日発行

公立学校共済組合中国中央病院

TEL.084-970-2121(代) FAX.084-972-8843

<https://www.kouritu-cch.jp>

編集：広報委員 安藤由智 田野智之 荒木恒太 尾形佳子 笹野由希恵 大塚識稔 佐々木美里 栗村朋香 藤井美名 上窪ちなみ 藤井恭子 枝広恵 三浦美保 後藤大 森川薫

